

人身被害事例

ツキノワグマによる人身被害事例

	散歩中に農道で襲われ、顔を激しく損傷し、死亡	平川市 令和3年10月
	リンゴ園で農作業中に襲われ、側頭部や左手首を負傷	弘前市 令和2年8月
	山菜採り中に顔やひじをひつかれ負傷	田子町 令和2年7月
	きのこ採り中に右手を噛まれたほか、左手・左足をひつかれ負傷	むつ市 令和2年11月
	子グマを追い払おうとしたところ、近くにいた母グマから顔面等をひつかれ負傷	深浦町 令和元年9月

ツキノワグマ出没注意報・警報

県では、クマの出没による人身被害等の危険性が高まっている場合に、出没注意報や警報を発表することがあります。

新聞・ラジオ・テレビや県ホームページなどで情報を確認するようしてください。

また、クマ出没マップを県ホームページに掲載しています。



詳しくは [ツキノワグマ出没注意報](#) 検索

クマに出会ってしまったら

遠くにクマがいる場合

- クマは人の気配に気づくと、隠れたり、逃げる場合が多い。
- クマが気づいていないようなら、人間の存在を気づかせるために、物音を立てるなど様子を見ながら、立ち去る。
- 大声を出したり、急な動きをしない。
(クマが驚いて、どんな行動をするかわからない)

近くにクマがいる場合

- 落ち着いてクマとの距離をとることでクマが立ち去る場合がある。
- 背中を見せて逃げず、
クマを見ながら、ゆっくり後退する。
- 子グマがいても近づかない。
(すぐそばに母グマがいて危険)

至近距離で遭遇した場合

- 攻撃回避の完全な対処方法は無い。
- クマ撃退スプレーを噴射する。
- クマが攻撃してきたら、
両腕で顔と頭を覆い、
うつ伏せになり、大ケガを避ける。



クマに出会わないために



出没情報を県ホームページなどで確認する。



単独ではなく、
複数で行動する。



鈴やラジオをつけるなど、
音を出しながら歩く。



早朝や夕方、霧の深い日は山に入らない。



水流の激しい沢や
悪天候の日は要注意。



クマの足跡や糞などを見つけたら引き返す。



山菜採りなどに
夢中になりすぎない。

